

坂出緩衝緑地再整備基本計画（案）における パブリックコメントの実施結果について

1. パブリックコメントを実施した計画案 坂出緩衝緑地再整備基本計画（案）

2. 意見募集の要旨

坂出緩衝緑地は、公害防止や市街地の生活環境保全を目的として整備された都市公園である。整備から40年以上が経過し、番の州地区などの工業団地からの環境的影響は、整備当時と比べて改善していることから、緩衝緑地としての機能は維持しつつも市民活動拠点としての新たな役割が求められている。そこで、豊かな自然環境と長大な空間をいかながら、多様な世代が集い、交流する市民の活動拠点を創出する場をめざし「坂出緩衝緑地再整備基本計画（案）」を作成した。

これからのまちづくりにおいては、課題を的確に捉えた長期的視点に基づく持続可能なまちづくりが必要であり、行政のみならず民間との連携による地域活力の維持・向上が不可欠であると考えられ、そのためには、地域における多様な主体と新たなまちの価値を創造するビジョンを共有することが重要である。そこで、基本計画策定にあたって、市民や関係者の皆さまから広くご意見をいただきたく、パブリックコメントを実施した。

3. 意見の募集期間

令和5年6月2日（金）～ 令和5年6月30日（金）（1ヵ月間）

4. 意見を提出できる方

- ・市内に住所を有する方
- ・市内に事務所または事業所を有する方および法人等
- ・市内の事務所または事業所に勤務する方
- ・市内の学校に在学する方
- ・その他、本計画に利害関係を有する方および法人等

5. 意見の提出件数

2名から2件

6. 意見に対する回答および考え方

別添のとおり

坂出緩衝緑地再整備基本計画（案）における意見に対する回答および考え方

| 整理番号 | 意見の内容（要旨） | 検討結果（市の考え方） |
|-------------------|---|---|
| 坂出緩衝緑地の活用方法について | | |
| 1 | <p>現在はうっそうとして恐ろしい感じもします。そのまま緑地帯をいかしつつ、「四季の森」、「四季の庭」、アスレチックを提案します。SDGsでアスレチックは木で創作する。現在、番の州公園で行っているのを緑地帯にもってくる。高齢者・子どもたちが近くで楽しめるよう、坂出市民のための集いの場となればと思います。屋外ステージも使えるようにしてほしいです。中高生が土日遊んでいます。</p> | <p>坂出緩衝緑地は、住宅地に近い中心市街地に位置することから、令和4年度に策定した「坂出駅周辺再整備基本構想」において、“Community Gate”と位置づけ、豊かな自然環境と長大な空間をいかしながら、多様な世代が集い、交流する市民の活動拠点を創出する場をめざすこととしております。</p> <p>その実現に向け、地域のニーズを把握するため、本基本計画の策定過程において「坂出緩衝緑地の未来を考えるワークショップ」を開催し、幅広い世代のご意見をお聴きしました。頂いたご意見をもとに、アウトドア空間やアート・文化空間、キッズ空間など、様々な特徴を持つ空間を配置し、子どもから高齢者まで幅広い世代の方が集い、楽しめる公園づくりに取り組んでまいります。</p> |
| 西大浜緑地(B地区)再整備について | | |
| 2 | <p>65年前から緑地の南側の住宅地に住んでいます。緑地ができる以前からみてきました。賑わいの公園にすることには反対です。しかし40年以上も経過し木々は生い茂り緑地の中は昼間でも薄暗い状況です。まず木々の整理から始め太陽の光が入ることから始めてはどうでしょうか。そうすれば、散歩、ジョギングには最適だと思います。幅50メートル、長さ1.2キロではワークショップで出されていた提案の実現はできないと思います。坂出市は丸亀市に比べ財源の少ない市ですから、無駄なお金は使わない方が良いでしょう。これから先小学校・中学校の生徒も減り、統合や校舎の建て替え問題があると思います。その費用のためにも無駄な金は使わないようにしてほしい。</p> | <p>坂出緩衝緑地は、令和6年度にフルインター化が予定されている坂出北インターチェンジや、さぬき浜街道に近接した位置にあり、交通量の増加が予想される地域に位置することから、令和4年度に策定した「坂出駅周辺再整備基本構想」において、「西運河入船エリア」と一体として、重点地区と定め、中心市街地への玄関としての役割を持つ地区として位置付けております。</p> <p>また、本基本計画においても、「坂出市の玄関口となる魅力づくり」を基本的な考え方の1つに掲げております。賑わい空間とともに、季節を感じながら過ごすことができる空間も、公園のもつ魅力のひとつであり、延長1.8kmにわたる長大な空間をいかし、様々な特徴をもつ空間を配置することで、より魅力的な公園づくりにつながるものと考えております。</p> <p>想定される施設・設備については、ワークショップでの多くの意見をもとに取りまとめたものであり、お示ししている全ての施設・設備を整備するものではありません。</p> <p>坂出緩衝緑地の再整備にあたっては、民間の持つ知識、ノウハウ、資源等を活用する公民連携手法を用いて事業を進めていくこととしており、今後、民間事業者との対話を通じて、市の財政負担や法的な要素も加味しながら、坂出市の玄関口として魅力ある公園となるよう検討してまいります。</p> |